

しなが輪

地域の方を紹介するコーナ ー。次の方を紹介して頂き『地域の輪』をつなげていきます。

今回は大井三丁目・池上通り沿いのアクツ電

さん、従業員の方とともに現役でご活躍されています。

気社長、阿久津勉さんにお話を伺ってきました。 お店を訪ねると「いらっしゃい。お待ちしてましたよ!」と明るい声が 迎えて下さいます。昭和42年、修理をメインにお店を始め、お客様から のご紹介で顧客数を地道に増やしてきました。80歳になる現在も、息子

「いつも地域一番店でありたい。親切丁寧な対応でお客様の信用をいた だきたい」という気持ちを常に忘れず、主に品川区全域を対象に営業して います。「量販店でも修理はしているが、依頼してから3、4日かかってし まう。ウチはお客様からお電話をいただいたら即対応するフットワークの 良さが売り。作業を終えた時、アクツ電気さんに頼んでよかった、と言っ てもらえるとうれしい」とおっしゃる阿久津さん。駅前に大型量販店が構 える厳しい環境でもお店が頑張れているのは、ここでしか出来ないサービ スの提供とお客様ファーストの精神に理由があるようです。

ご主人は業界誌で連載を担当された経験があり、当時の掲載記事をいく つか見せていただきました。中でも印象的だったのは昭和 20 年の東京大 空襲時を回想した記事です。ご実家が焼夷弾の直撃を受け、6歳だった阿 久津さんの上着に火が移って火だるまになり、お兄さんが近くの防火用水 槽に投げ込んでくれたおかげで命拾いした…とありました。この辺り一帯 に火の海が広がっていたなんて…と驚くと同時に、今の阿久津さんの穏や かな姿からは想像できない体験をされたのだな…この土地でその後の復 興を見守ってきた方だから、地元密着にこだわり努力を続けられたのだな …と納得しました。

以前は商店街がたくさんのお店で活気に満ちていたのに、道路の拡幅に 伴い閉店となる店が多く、すっかり寂しくなってしまったそう。アクツ電 気さんの店舗もセットバックのためだいぶ狭くなったのが悩みです。

お忙しいお仕事の間に快く取材に応じて下さった阿久津社長。お客様を 大切にし、いつも思いやりを持って接している、その心掛けの素晴らしさ がお店の永続きに繋がっているのだと感じました。

次回は大井本通り商店街会長 西山 友二さんをご紹介いただきました。 こうご期待! 【檜山】



勉

大井第一小1年 白山 「 ステキな未来 」



「小 1!?」と思ってしまうクオリティ! すごい! 公園など、ひとつひとつの描き込みや世界観が素晴らしくて、 夢と愛が伝わってきます。次は、物の立体感・奥行きなどを意 識してみてもいいのかも! 【 五十嵐 】

今日の夕飯はカレ んじゅくって

何それ

かしい 言葉つながり

「土地に眠る歴史の痕跡」

以は教育委員会による発掘調

査が行われ ったため、 にそうです。 し、時間は ったそうで

撤去に至っ

あるような住居跡は見つかりませんで

したが、土師器(はじき)、陶器、

煉瓦な

お伺いすると、残念ながら品川歴史館に教育委員会の寺門さんと中野さんに

です。

2 E×4 E×深さ1 E位掘って埋蔵文

化財調査は行われました。

だったので

= 滝王子町会会館 =



耶の建設中に竪穴式住居 落があったことが 見つ 子町会山田 そうです。 平安時代の たことによ 土器や砥石 を聞きまし

滝王子町会山田会長



旧滝王子会館

ボル、区内30カ所でおした。 **大井鹿島遺跡** 会に どを行う場 化財包蔵地 島遺跡」と また、指 必要に

も何千年後には遺跡になるのかも!? には新会館が誕生します。そして、これ 中に残っていました。いよいよ来年2月 しれませんね。

参考資料 品川歴史館 教育委員会より)

嶋村・レイアウト角矢】

れたロゴも確認できます。 どが出てきたそうです。 あった工場で作られた「品川白煉瓦」と 戸時代の徳利(とっくり)、煉瓦は明治時 代の耐火煉瓦だそうです。煉瓦は品川に いう耐火煉瓦で「SHINAGAWA」と彫ら の高坏(たかつき)という食器、陶器は江 おそらく、土師器は古墳時代中~後期 幾重にも重なる歴史の足跡が地面の

発掘された煉瓦、陶器、土師器

が埋まって ら、入口付 ませんでし 更地になっ ことになり、 し入った所

8月17日に会館敷地に重機が入り、 旧会館は約30年前、

うですが、品川歴史館建設より前なの られました。当時のことはご存知ないそ 発掘調査は行われなかったようで 昭和56年頃建て



発掘調査の様子